

# 授業改善推進プラン

## ○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
<b>国語</b>	<p><b>○学習の見通しが意識できる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が見通しをもちやすいよう、ねらいは分かりやすい文言で設定する。</li> <li>授業の冒頭だけでなく、授業の途中にもねらいに立ち返り、生徒が意識できるようにする。</li> </ul> <p><b>○自分から根拠を確かめられる力の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正誤に関係なく、ノートに書いた自分の解答を消さないよう指導し、間違いが悪いことだという意識を修正する。</li> <li>日常の学習から発言を生かし、生徒間の質疑応答の場を作る。</li> </ul>	<p><b>○学習の見通しが意識できる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が見通しをもちやすいよう、ねらいは分かりやすい文言で設定する。</li> <li>授業の冒頭だけでなく、授業の途中にもねらいに立ち返り、生徒が意識できるようにする。</li> </ul> <p><b>○短文でまとめる力の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字数を限定し、短くまとめる機会を増やす。キーワードに着眼して読むことへの意識づけを行い、情報の取捨選択ができるようにする。</li> </ul>	<p><b>○学習の見通しが意識できる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が見通しをもちやすいよう、ねらいは分かりやすい文言で設定する。</li> <li>授業の冒頭だけでなく、授業の途中にもねらいに立ち返り、生徒が意識できるようにする。</li> </ul> <p><b>○要約する力と知識の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現やキーワードに着眼し、深く理解することで、要約ができるようにする。古典の単語や語彙など、小テストを活用し、知識の定着を図る。</li> </ul>
<b>社会</b>	<p><b>○生徒が自らテーマを設定し、それに沿って見通しをもつ学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の始めに、「この単元を通して学びたいこと」を設定させる。また、授業の始めに「この授業で学びたいこと」を設定する。単元終了時に、「この単元を通して分かったことと新たな問い」をまとめさせる。これが蓄積できるよう、見通しと振り返りシートの改善を図る。</li> <li>単元の学習終了後にそれぞれの生徒が作成したまとめレポートを互いに読み啓発し合えるよう掲示しやすいフォーマットを工夫する。</li> </ul>	<p><b>○基本的な知識や技能の習得</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に小テストを実施し、スモールステップで知識の定着を図る。</li> <li>キーワードをまとめやすいワークシートを作る。</li> <li>双六などゲーム感覚で学べるツールを作成し使用する。</li> </ul> <p><b>○基本的な知識や技能の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習終了後に、知識や技能を活用して思考する必要があるテーマを追究課題として設定する。</li> </ul>	<p><b>○基本的な知識や技能の習得</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に小テストを実施し、スモールステップで知識の定着を図る。</li> <li>キーワードをまとめやすいワークシートを作る。</li> <li>双六などゲーム感覚で学べるツールを作成し使用する。</li> </ul> <p><b>○基本的な知識や技能の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習終了後に、知識や技能を活用して思考する必要があるテーマを追究課題として設定する。</li> </ul>
<b>数学</b>	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもちやすいように単元を貫く問いの設定を行う。また、振り返りシートも記述の量を減らして見やすい物に改善する。</li> </ul> <p><b>○生徒が解答を自分のことばで説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記述問題に対応するため、自分の考え方を記述する場面を増やしていく。また、記述した内容を発表する場面も増やしていく。</li> </ul> <p><b>○問題演習の時間設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テストや定期考査でケアレスミス減らすため、授業の演習時間を決めて、時間内に問題を解くことをならしていく。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもちやすいように単元を貫く問いの設定を行う。また、振り返りシートも記述の量を減らして見やすい物に改善する。</li> </ul> <p><b>○問題演習の時間設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テストや定期考査でケアレスミス減らすため、授業の演習時間を決めて、時間内に問題を解くことをならしていく。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもちやすいように単元を貫く問いの設定を行う。また、振り返りシートも記述の量を減らして見やすい物に改善する。</li> </ul> <p><b>○STEP2 を活用して、単元の復習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>STEP2 を単元、項目毎に取り組めるようにする。苦手分野を学年関係なく、演習できるようにする。</li> </ul>
<b>理科</b>	<p><b>○学習の振り返りシート内容及び使用方法を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りシートの内容を精選し、記述時間を確保し、具体的な内容を記述できるように指導する。</li> <li>観察・実験においてレポートの内容を精選し、理解を確認しながら授業を行うことを心掛ける。</li> </ul> <p><b>○学習内容理解のための取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に生徒と教師の間で発問を行い、学習内容を理解させる。小テスト等の問題演習で基礎的な内容の理解を確認する。</li> <li>定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容の確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。</li> <li>定量的な学習内容の理解のため、単位変換や計算方法の理解のために演習を行う。</li> <li>タブレット PC を積極的に活用し、PC を使用した学習に慣れさせる。</li> </ul>	<p><b>○学習の振り返りシート内容及び使用方法を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りシートの内容を精選し、記述時間を確保し、具体的な内容を記述できるように指導する。</li> <li>観察・実験においてレポートの内容を精選し、理解を確認しながら授業を行うことを心掛ける。</li> </ul> <p><b>○学習内容理解のための取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒への発問の機会を増やして、基本的な内容の理解を心掛ける。小テスト等で特に計算問題の演習を行い、基礎的な内容の理解を確認する。</li> <li>主に生物の授業では、理解することを重点とした授業を心がける。</li> <li>定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容の確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。</li> <li>タブレット PC を積極的に活用し、試行錯誤しながら PC を利用する方法を身に付けさせる。</li> </ul>	<p><b>○学習の振り返りシート内容及び使用方法を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りシートの内容を精選し、記述時間を確保し、具体的な内容を記述できるように指導する。</li> <li>観察・実験においてレポートの内容を精選し、理解を確認しながら授業を行うことを心掛ける。</li> </ul> <p><b>○学習内容理解のための取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業内での発問や小テスト等で基本的内容の定着を心掛け、日常生活や社会と関連付けた授業を行い、学習内容を活用する力を身に付けさせる。</li> <li>主に化学の授業では、理解することを重点とした授業を心がける。</li> <li>定期考査前に学習内容の振り返り及び基礎的な内容の確認を行う。定期考査後に個人面談を実施し、成果と課題を確認する。</li> <li>授業でタブレット PC を活用することで、生徒自ら積極的に利用できる力を身に付けさせる。</li> </ul>
<b>音楽</b>	<p><b>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れを分かりやすく板書で示し、題材を通した活動の流れをワークシートに記載する。</li> <li>題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○様々な曲で音楽記号や音符の意味・書き方・漢字表記について繰り返し取り上げ、確実な知識の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材をまたいで、新しい曲を学習する際に、楽譜に書いてあることを音楽の要素に分けてチェックする活動を行う。また、小学校段階からワークシートで書く活動を増やす。</li> </ul>	<p><b>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れを分かりやすく板書で示し、題材を通した活動の流れをワークシートに記載する。</li> <li>題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○技能に関わる身体の使い方等を言語化して共有しながら技能の習得</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>諸要素の変化や曲想を表すためにどのように体をつかっていくか、ワークシートを使いながら言語化させ、お互いの言葉で補い合うことで共通認識をもって技能を高められるようにする。</li> </ul>	<p><b>○題材のねらい・学習の流れの示し方やワークシートの構成を改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって取り組めるよう、本時の活動の流れを分かりやすく板書で示し、題材を通した活動の流れをワークシートに記載する。</li> <li>題材のねらいの文言を工夫し、生徒の活動の動機付けとなるような示し方ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○様々な曲で音楽記号や音符の意味・書き方・漢字表記について繰り返し取り上げ、確実な知識の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞を中心に、音楽の諸要素についてもう一度丁寧に整理しながらワークシートにまとめる活動を行う。その知識を生かして歌唱・器楽・創作の表現活動を行う。</li> <li>ワークシートを使って書く活動を増やす。</li> </ul>

○授業改善の方策 ・具体的な取組

	7年	8年	9年
美術	<p><b>○見通しと振り返りの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を「自分ごと」として捉え、自分の意志で表現したいと思うように、題材を設定する。限られた時間の中で表現方法などを選択し、自ら見通しを意識できるように進める。</li> <li>・題材に対しての進度の参考例を見通しと振り返りシートに提示し、各自に合った進め方を授業の始まりの際に確認してから、本時の内容を始める。</li> <li>・振り返りでは、「感じたこと、考えたこと、学んだこと」だけでなく、表現で困っていることや意欲的になれないことも書けることを伝える。教員からのコメントを記入し、次回以降の学習に役立てられるようにする。</li> </ul> <p><b>○表現の幅が広がる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術室内の環境を整え、画材や資料など気軽に使えるようにする。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を「自分ごと」として捉え、自分の意志で表現したいと思うように、題材を設定する。限られた時間の中で表現方法などを選択し、自ら見通しを意識できるように進める。</li> <li>・題材に対しての進度の参考例を見通しと振り返りシートに提示し、各自に合った進め方を授業の始まりの際に確認してから、本時の内容を始める。</li> <li>・振り返りでは、「感じたこと、考えたこと、学んだこと」だけでなく、表現で困っていることや意欲的になれないことも書けることを伝える。教員からのコメントを記入し、次回以降の学習に役立てられるようにする。</li> </ul> <p><b>○見通しと振り返りシートの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の進度を確認し、本時の見通しを意識させてから始める。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を「自分ごと」として捉え、自分の意志で表現したいと思うように、題材を設定する。限られた時間の中で表現方法などを選択し、自ら見通しを意識できるように進める。</li> <li>・題材に対しての進度の参考例を見通しと振り返りシートに提示し、各自に合った進め方を授業の始まりの際に確認してから、本時の内容を始める。</li> <li>・振り返りでは、「感じたこと、考えたこと、学んだこと」だけでなく、表現で困っていることや意欲的になれないことも書けることを伝える。教員からのコメントを記入し、次回以降の学習に役立てられるようにする。</li> </ul> <p><b>○見通しと振り返りシートの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の進度を確認し、本時の見通しを意識させてから始める。</li> </ul>
保健体育	<p><b>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。</li> <li>・学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。</li> <li>・話し合い活動を充実させるために、iPad、chromebook の活用を計画に取り入れる。</li> <li>・プリントの「自己評価欄」、「見通し・振り返り」の精選を行う。</li> <li>・保健体育科独自の授業アンケートを Googlefoam で行う。</li> </ul>	<p><b>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。</li> <li>・学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。</li> <li>・話し合い活動を充実させるために、iPad、chromebook の活用を計画に取り入れる。</li> <li>・プリントの「自己評価欄」、「見通し・振り返り」の精選を行う。</li> <li>・保健体育科独自の授業アンケートを Googlefoam で行う。</li> </ul>	<p><b>○生徒に単元の見通しと、1単位時間の見通しをもたせ、より主体的に取り組む態度の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の「目標」「授業の流れ」「技能ポイント」等の掲示を行う。</li> <li>・学習プリントに、「単元の目標」「単元の流れ」「1単位時間の流れ」を記載する。</li> </ul> <p><b>○複式を生かし、リーダーの積極的な取り入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技等の単元において、計画的にリーダーを取り入れ、主体的に取り組む態度の育成を図る。</li> <li>・プリントの「自己評価欄」、「見通し・振り返り」の精選を行う。</li> <li>・保健体育科独自の授業アンケートを Googlefoam で行う。</li> </ul>
技術	<p><b>○学習の見通しの意識づけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器をさらに活用して分かりやすい具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。</li> </ul> <p><b>○学習の目標やまとめを確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成のために知識・技能の十分な理解、作業のポイント、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導を行う。</li> <li>・各自のまとめ、自己評価を確認しアドバイス等を行う。</li> </ul>	<p><b>○学習の見通しの意識づけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器をさらに活用して分かりやすい具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。</li> </ul> <p><b>○学習の目標やまとめを確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成のために知識・技能の十分な理解、作業のポイント、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導を行う。</li> <li>・各自のまとめ、自己評価を確認しアドバイス等を行う。</li> </ul>	<p><b>○学習の見通しの意識づけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器をさらに活用して分かりやすい具体的な資料提示をする。また、個に応じた指導を行う。</li> </ul> <p><b>○学習の目標やまとめを確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成のために知識・技能の十分な理解、作業のポイント、他者の意見を聞くなどの時間を意識的に作り、学びにつなげる。また、作業進度に応じた個別指導を行う。</li> <li>・各自のまとめ、自己評価を確認しアドバイス等を行う。</li> </ul>
家庭	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を明確にする。</li> <li>・文例を載せて、自分の考えを整理して記入できるようにする。</li> <li>・見通しと振り返りシートに記入したことを授業の振り返りの時間に活用し、生徒の言葉でまとめができるようにする。</li> <li>・生徒の記述に毎回コメントをして、思考を促したり、間違いを修正したりするなど、個に応じた指導ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○個に応じた指導「発展的な学習」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作の学習では、生徒が計画を立て、計画に沿って製作ができるようにする。</li> <li>・個人で完結する学習だけでなく、対話的な学習や協働学習を積極的に取り入れ、深い学びが実現できるような学習活動を工夫する。</li> <li>・知識技能を生かして取り組むパフォーマンス課題を内容のまとまりごとに設定する。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を明確にする。</li> <li>・文例を載せて、自分の考えを整理して記入できるようにする。</li> <li>・見通しと振り返りシートに記入したことを授業の振り返りの時間に活用し、生徒の言葉でまとめができるようにする。</li> <li>・生徒の記述に毎回コメントをして、思考を促したり、間違いを修正したりするなど、個に応じた指導ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○協働活動に向かわせるまでの手立ての工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いでは自分の考えを記述してから話し合いに臨ませることで、自信をもって話ができるようにする。</li> <li>・生徒主体で協働活動ができるように、話し合いの進め方をマニュアル化する。</li> </ul>	<p><b>○見通しと振り返りシートの改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点を明確にする。</li> <li>・文例を載せて、自分の考えを整理して記入できるようにする。</li> <li>・見通しと振り返りシートに記入したことを授業の振り返りの時間に活用し、生徒の言葉でまとめができるようにする。</li> <li>・生徒の記述に毎回コメントをして、思考を促したり、間違いを修正したりするなど、個に応じた指導ができるようにする。</li> </ul> <p><b>○生徒が見通しをもった製作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を活用して、製作工程の動画を作成し、生徒が自分のやるべきことがすぐに確認できるようにする。</li> <li>・毎授業の目標を明確にして、見通しをもって効率よく作業ができるようにする。</li> </ul>
外国語	<p><b>○生徒が興味・関心をもって主体的に取り組める授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。</li> </ul> <p><b>○生徒が分かったと感じる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。</li> <li>・一度学習した文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。</li> </ul> <p><b>○リスニング力と日常会話力の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson の GET 每での導入でリスニングをより強化し、またその中の Listen を活用し、リスニング力をつける。音読練習にも力を入れ、英語の音に慣れさせる。</li> </ul>	<p><b>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。</li> </ul> <p><b>○生徒が分かったと感じる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートを工夫する。</li> <li>・一度教えた文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。</li> </ul> <p><b>○英文読解力の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解が中心の Lesson の USE Read を活用する。また、独自の読解用ワークシートを作り、英文読解に慣れさせる。</li> </ul>	<p><b>○生徒が興味・関心をもって積極的に取り組める授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心をもてる英語を使ったアクティビティをより活用する。</li> </ul> <p><b>○生徒が分かったと感じる授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を学んだかを Lesson ごとに振り返ることができるよう、ワークシートをより工夫する。</li> <li>・一度教えた文法事項をスパイラルで使う機会を与え、繰り返し触れながら定着させる。</li> </ul> <p><b>○英語長文読解力の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解が中心の Lesson の USE Read を活用する。また、独自の読解用ワークシートを作り、英文読解に慣れさせる。また、長文読解の機会を多くし、読解力をつけさせる。</li> </ul>